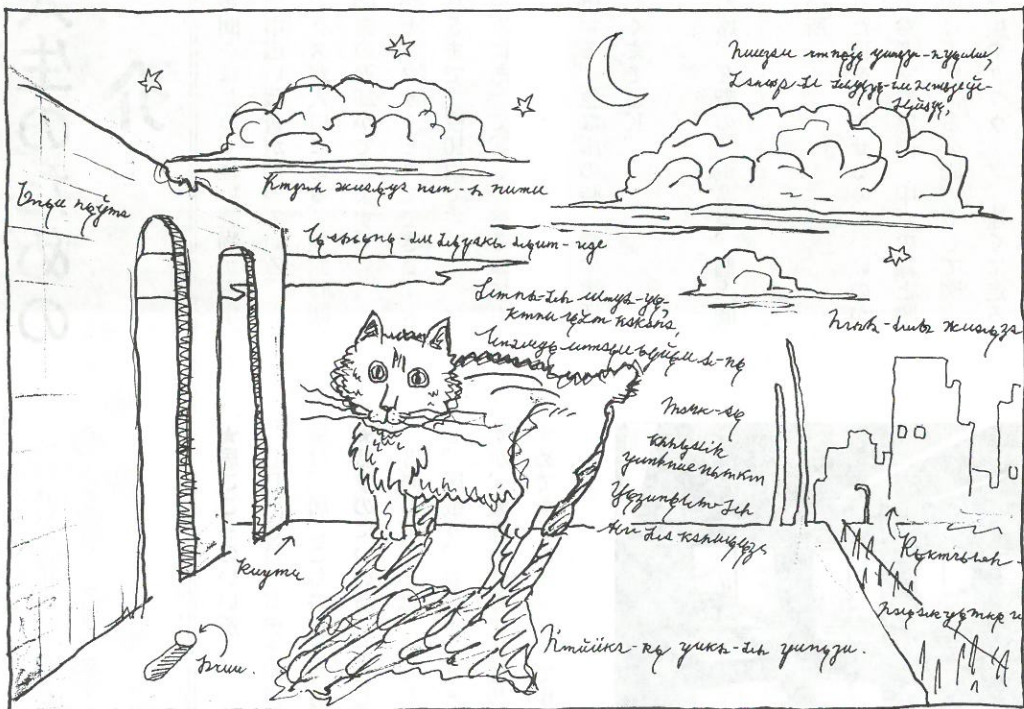


TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

# KOZMOS

特集

図書館員による新入生のための  
図書館紹介



『図書館に通う猫』 図書課・田中秀幸さん画

# 特集 図書館員による新入生のための 図書館紹介

## 朝霞分館

図書館スタッフ全員アンケートより

朝霞図書館のいい所を考えてみようというテーマのアンケート結果です。

### ★便利なサービス

一位は東洋大学三キャンパスの蔵書を検索できるOPAC(オーパック)。ちなみに朝霞図書館の蔵書の95%は機械で検索できます。そして三キャンパスの図書館間で資料を相互にとり寄せて利用できること。二位は、ほとんどの資料を直接手にとりて見られること。約19万冊の蔵書の90%近くを開架しています。

三位以下は、

①座席が多い。視聴覚室のブース・ホールも含めて88席あります。

②本探しの相談にのる、参考係がいます。

③各社の新聞をはじめ、軽い読物から学術書まで幅広い蔵書が揃っている。

④返却ボックスが入口にある。開館時間外でも図書の返却ができます。

⑤コピーがセルフサービスでできる。A3からB5まで1枚10円です。

⑥食堂が地下にあって、しゃべるのにも便利。

⑦傘も貸出する。急な雨の時、学生生活課より遅くまでOK。

### ★静かな所

3階の閲覧席、2階の閲覧席奥、個人閲覧席など。

### ★景色が良い所

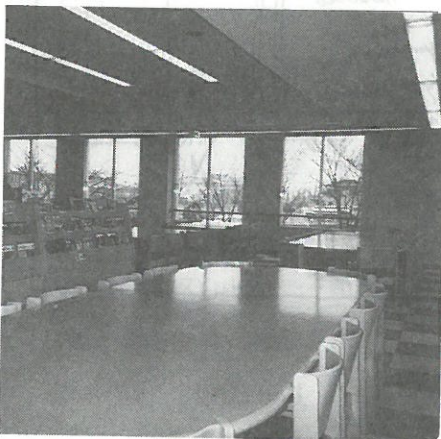
勉強に疲れた目を休ませるのにいいのが2階雑誌室と参考室の窓側。中庭の緑と噴水、桜の季節は下にある公園、そして図書館入口も、芝生やグラウンド、遠くに走る電車と楽しめます。

### ★居こちのいい所

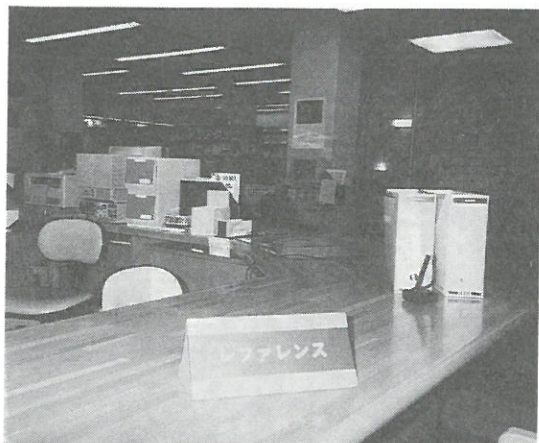
LDやCD、ビデオが視聴できる視聴覚室は、居こちの良さでも高い評価。

### ★話すのにいい所(ただし静かに)

3階のロビーは、広々して待合合わせ、居眠り、おしゃべりと多目的に使えますが、激論を交わす時は共同研究室がおすすめです。カウンターで申込んでください。



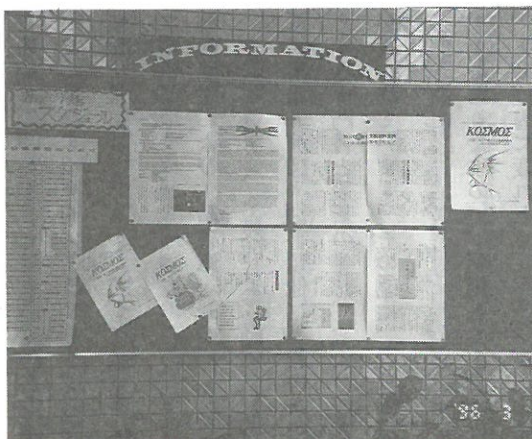
2階 雑誌室



2階 カウンター

★待ち合わせにいい所  
 入口に近く、軽い読物を見ながらフカフカのソファで待てる、ブラウジング・コーナーが一位。新聞コーナーもすぐそばにあります。

図書館の利用は年々増加しています。朝霞図書館には一日平均で約千人の入館者があります。大学時代を有意義に過ごすのに図書館は不可欠だということの現れでしょう。利用される方一人一人が、上手に図書館を利用するコツを会得して下さることを願っていますし、また、お手伝いします。



2階 インフォメーション・ボード



2階 ブラウジング・コーナー

## 工学部分館

### 1. はじめに

図書館は、キャンパス(約10万坪)の「へそ」とも言える位置にあります。鶴ヶ島駅の方から歩いてきて「こもれびの道」を抜けると、やや左手の方に見える2階建の建物です。

### 2. 中へ入ってみると

#### (1) 1階ロビー

#### ①カウンター

当館で所蔵する資料の貸出・返却だけではなく、様々な質問(例えば、他大学で所蔵する資料を見たい、端末の使い方を知りたいなど)に対応しています。

何か分からないことがあれば、まずここへ来て相談してみてください。

#### ②新聞コーナー

朝日・読売・毎日・日経・日刊工業・埼玉・ジャパントイムズ・日刊スポーツと各種揃えてありますので、毎日読んでいけば、相当な事情通になれる(?)かもしれません。



図書館入口

③ 視聴覚コーナー

1階の一番奥にある、小じんまりとしたスペースですが、ビデオを見たりCDを聴いたりできますので、ぜひ「リラックサス」しに来てください。

(2) 情報検索コーナー

1階ロビーから階段を昇ったところにあるこのコーナーは、利用者の皆さん自身が、「探す」ことに専念するところです。

従来からある目録カードケースに加え、TRITON・OPACCやCD-ROM (ソフトには、国立国会図書館の目録や朝

日新聞の記事索引など) が置かれていますので、恐れず積極的にトライして、必要な情報を集めてください。(コピー機も一台、ここに設置してあります)

(3) 閲覧室および1階書庫

2階閲覧室は、全般的な参考図書(辞書・百科事典・地図・白書類他)と和書を中心とする専門書と最新の雑誌、および閲覧席が置かれています。その他に、「軽図書」(旅行ガイドやベストセラーなど)のコーナーもありますので、利用してください。また読書に疲れたら、ベランダへ出てみ



1階 ロビー

てください。

新鮮な空気に触れ、緑の芝生や松林を眺めれば、きっと良い気分転換になるでしょう：

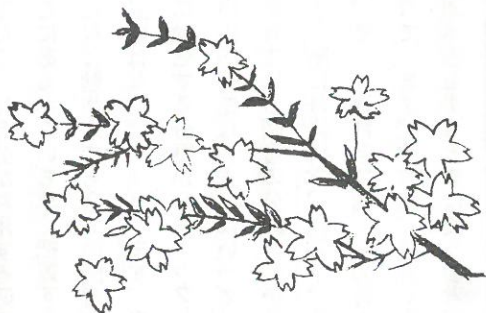
これに対し1階書庫は、洋書を中心とする専門書と雑誌のバックナンバーが置かれ、高い書架がぎっしりと並んでおり、2階とは全く雰囲気が違うかと思えます。

ただしここには、「キャレル」という一人用の机が置かれていますので、ひとり静かに読書するには持ってこいの場所です。

(※あまり静かでも寝ていてはダメ！)



1階 視聴覚コーナー



### 3. おわりに

以上、かけ足で図書館の案内をしましたので、利用者の皆さんには他にもわからないことがいっぱいあると思います。

それは利用者の皆さんが、実際に図書館へ足を運んで、一つ一つ解決してください。

その時には、当館の職員も皆さんと一緒に考えますので、どんどんカウンターまでお越しください。よろしく！

## 白山図書館

白山図書館は昨年の六月に開館したばかりです。現在、東洋大学には三つのキャンパスがあり、それぞれに図書館を置いていますが、その中で最も新しい図書館がこの白山図書館です。

学生の皆さんはこれから四年ないし二年の学生生活の中で、白山図書館を利用していくことになるわけですが、この最新の施設設備を満載した白山図書館を使いこなすことができれば、皆さんの学生生活が充実したものになることは間違いなしです。そこで、白山図書館の特色を紹介しながら利用のノウハウを伝授したいと思います。

もう既に白山図書館を利用した人はいいますか？ エントランス（入口）のところに何やら駅で見かけると同じゲートがあることに気づかれたと思います。ここではIDカード（学生証）をゲートに通して入館してもらいます。少し面倒臭いと思われるかもしれませんが、ゲートを設置した理由

がありますから簡単に説明しておきましょう。ひとつは大都市にある図書館として利用者のセキュリティ（安全性）を確保すること。次に、利用規則を遵守することで学生の皆さんの利用が最優先となるようにするため。そして、何よりも白山図書館はIDカード（学生証）を持っていないと有効に利用できないからです。

まず第一に、IDカード（学生証）は図書の貸出カードを兼ねています。メインカウンターや自動貸出返却システムで図書の貸出手続きをする際に、IDカードは不可欠です。また、グループ学習室の利用予約やメディアスクエアでのブースの利用手続き、そして電動書庫へ入庫する時にもIDカードが必要になります。

このように図書館内の施設を利用する際にはIDカードが必要不可欠です。ですから、図書館に来るときにはカードを忘れないようにしてください。でも、人間だから忘れることもありますよね。そんなときは入口にあるインフォメーションカウンターで所定の手続きをすれば入館できますのでご安心を。



B1Fへの階段

ところで、図書館を利用するうえで最も大事なことは**自分が利用する図書や雑誌がどこにあるかをいち早く把握すること**です。どんなに勉強家でも全ての図書の所在を知る必要はないでしょう。まず、自分が専門的に勉強する分野からチェックしましょう。

白山図書館は大まかにいってフロア毎に置かれている図書の分野がわかれています。地下一階には経済学、経営学、法律、社会学、そして教育学に関する図書や雑誌が置かれています。その他、辞書や事典といった調べ物をするときに使う参考図書がある

ほか、文庫や新書が一般の書店と同じよう

なスタイルで置かれていますし、約六〇〇タイトルの雑誌の最新号が手にとって見られるように並んでいます。地下二階には哲学、歴史、文学などの図書と雑誌があります。しかし、これらの書架に並んでいる図書や雑誌は全ての蔵書（約六二万冊）の一部に過ぎません。蔵書の多くは電動書庫に置かれています。最初に書庫に入ったときには、おそらく整然と並んだ集密書架のボリューム感に圧倒されることと思いますが、それに負けることなく積極的に利用してほしいものです。きっと新しい発見があることでしょう。

さて、多くの蔵書の中から必要とする本や雑誌を見つけるためには、「情報検索」の方法を身につけなくてはなりません。

まず、図書館で覚えるのはOPAC（オーパック）と呼ばれている情報検索用端末の操作方法です。ここでは詳しいことを説明するだけの余裕がありませんから、図書館で行う図書館ツアーやオリエンテーション、そして端末の操作説明会にどンドン参加して自分のものにするをお勧めしておき

ます。

最後に、地下二階にあるメディアスクエア（AVライブラリー）をご紹介します。図書館は勉強するだけの場所ではありません。勉強に疲れたら、メディアスクエアでリフレッシュ。ここには最新映画のLDや最新ヒットチャートを賑わしているミュージシャンのCDなどが沢山あります。残念ながら貸出はできませんが、皆さんの声を参考に購入していきますから、観たい聴きたい作品があればリクエストしてください。勿論、資格試験や語学のテープなどの教材も充実していますから勉強好きの貴方にも満足してもらえと思っています。

習うより慣れる。積極的に図書館に足を運ぶことが『図書館の達人』への第一歩です。どうしても解らないことがあるときは恥ずかしがらずにカウンターで尋ねてほしいと思います。では、皆さんと図書館でお会いできることを楽しみにしています！

私が大学に入ったのは一九五五年である。四〇年間の研究生活の中で最も大きな比重を占めてきたのは書物・資料を読むことと考えることであった。大学にあって、研究し教育する側であろうとそれを受取る側であれ、両者の仲立は書物が行なっているのではなからうか。

東洋大学の三つの図書館は一九九五年度に約九二万点の図書

書を擁しており、これは私立大学の中でも決して少ない蔵書数ではない。勿論これ以外に視聴覚資料としてテープ、CD、LDさ

らには絵画等も所蔵されている。この三図書館に新入生諸君を迎えることは大変うれしいことである。

さらに今年度の新入生諸君にとりすばらしいことは白山の図書館が昨年完成し、いよいよ図書館本来の機能を發揮しうる時期に入ったことであろう。前館長の今井光太郎先生を始めとする関係各位の御尽力によ

り最新の図書館が出現し、稼働しているのであるが、今後の目標は完成設備(ハード)の利点を存分に引き出すための制度(ソフト)の整備であり、三つの図書館が一つの図書館となって動くことであろう。これには学生諸君の協力が不可欠である。頻繁に利用して頂きたい。

利用についていえば大学図書館は二・四

## 新館長からのメッセージ ●新しい利用者諸君に

### 上野 喬

年の年限にあたる短期的利用と何十年という長期的利用に及ぶことが至上の使命である。ここでの一番の問題は短期的利用の内容である。新入生諸君はまず書物・資料を直接手にしてそれらの利用方法を覚えて頂きたい。書物とは別言すれば人類が言葉と文字で織りあげた「文明の旗」であり、その使命は読者による利用にまかせられて

いる。勿論初めから簡単に利用・理解できる書物ばかりとは限るまい。利用方法、関連資料探索については職員の方々がお手伝いすることになる。要は利用者諸君が本学の図書館に慣れ親しんで頂きたい。書物を通じて人はまず「考えること」を習うのではない。「読むこと」を怠り「考えること」から離れば、書物という先人達は

物を語らず全くの古本と化すであろう。大学図書館を巨大な古本屋にしないことは、何よりも利用者諸君に関わっていただく。何卒諸君の要求を本学図書館に伝え

て頂きたい。それでも私が図書館長なのであるか。ここを利用していただくうちに、本館の館長先生はこの資料を存分に静かに秩序よく利用してくれる例えてみればシズオ君でありシズカさんではなからう。

(経営学部教授・うえのたかし)

外国の図書館シリーズ  
—その16—

国立成功大学

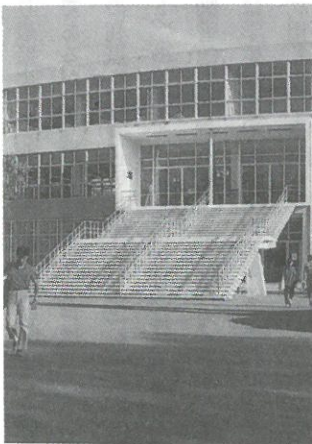
王 綺麗

情報化の進行と共に情報提供者として図書館の機能がますます重要視されている。台湾の図書館も例外なく設備の充実を図っている。ここでは台湾の台南市にある国立成功大学の図書館を紹介する。

敷地が広い成功大学の構内には、総図書館、医学図書館、文学図書館など3つの図書館がある。図書館の所蔵図書は中文図書のほかに洋書、日、韓文図書もある。雑誌を含めて、全部で74万7千冊を所蔵しており、マイクロ資料、レーザーディスク、地図などの非図書類資料も33万5千件を有している。全図書の目録は主にOPACシステムにより管理され、もちろん図書目録カードも作っている。

利用者は、館内のOPACシステムを利用して資料を検索することができる。館内の設備は日本の図書館とだいたい同じと考えられるが、ここで注目しておきたいのは、

近年のネットワークの充実である。利用者がこれによって、国内では言うまでもなく国外にいても館内の資料管理システムとなることができる。知りたい資料や図書の所在を確認し、図書貸し出しの状況、予約貸出期間の延長もできる。また、館内に整備されている国際百科資料検索(DIALOG)、国内外論文検索(STICNET)、台湾学術ネットワーク(TANET)、国際学術ネットワーク(INTERNET)等の利用によって、利用者は国内外の情報を簡単に手に入るようになってきている。このように、現代情報化社会において図書館設備の充実により、利用者のニーズに対応していくことが、成功大学図書館の最大の特徴と言えるでしょう。



(社会学部4年・おうきれい)

図書館アラカルト

▽図書館では、新入生を迎えるにあたり、4・5月に3館それぞれ図書館ガイダンスツアーを予定しております。

日時につきましては、次のとおりです。

△白山▽

図書館ツアー 4月15日～20日

図書館ガイダンス 5月13日～18日

△朝霞▽

図書館ガイダンス 4月5日

図書館ツアー 5月20日～24日

△工学部▽

図書館ガイダンス 4月3日

詳細につきましては、各図書館発行のパンフ・掲示等でお知らせいたします。

ΚΟΣΜΟΣ (No.113)

1996年3月29日発行

発行人：今井光太郎

発行所：東洋大学図書館

〒112 文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7327

© 東洋大学図書館 1996